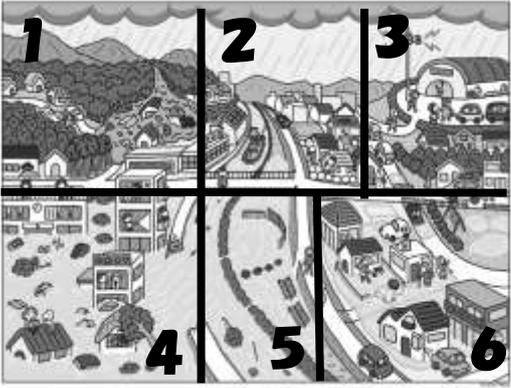


U1-1 大雨 命を守る

<p>目的</p>	<p>大雨による水害が発生した時に考えられる危険やそのときの行動について話し合い、おたがいに災害時に身を守る力を高める。</p>
<p>イラストについて</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <p>U1-1のシートは、ある町で大雨が降り続けているときの様子である。</p> <p>【地形について】 地形はシートの奥になるほど高く、手前に近いほど低い。右手と左手では左手が低い。中央の川は奥から手前に向かって流れている。</p> <p>【注目ポイント】 上の縮図に示した1~6の順序で説明する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土砂崩れ 2. 中州の釣り人、橋の上の人、住宅地の土のう積み、住宅の屋根の破損 3. 避難場所に向かう親子、アンダーパス（立体交差の下部）、避難場所と人の様子、スピーカーから流れる情報、川のほうに向かう緊急車両 4. 堤防決壊、全域床上浸水、建物に残って救助を待つ人々、浸水に伴う諸状況（倒木、流木、浮遊物など） 5. 河川敷の浸水、上流から流れてくるもの、堤防の人 6. 床上浸水の始まり、マンホールから噴き出す水、徒歩で避難する人、車で避難する人、家に残る人 <p>上記以外にも、気づいたことを自由に取り上げてその場の話題にできる。</p> </div> </div>
<p>使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な個々の場面を指摘しつつ、「こんな目にあったことがあります」「こわかったです」などの経験や感想の交換をする。 ・ 今暮らしている町の様子を思い出して、大雨のときどうなりそうか、どんな心配があるか、などの意見交換に使う。 ・ シート全体を一度に使う必要はない。必要なときに必要なだけ。 ・ 災害時の行動に関心を持つきっかけとして「〇〇を探せ」のようなゲーム的な利用もできる。 ・ 地域の過去の水害の写真やハザードマップなどを併用するのもよい。 <p>（注）シート、補助カードはともにお互いの話を通じやすくするためのツールであり、語彙学習のためではない。</p>
<p>備考</p>	<p>多様な出来事の提示を優先したため、厳密には同時に発生しがたい事象も一つの画面に含まれている。</p>

○補助カード

学習者とコミュニケーションをするときに、伝えたい状況やことばを日本語だけで伝えるのが難しい場合のコミュニケーション支援ツール（目で見ることば）として活用してください。U1-1, U1-2 の補助カードは共通です。

(印刷して切り離し、カード型にして使用)

カードNo	タイトル	備考
U1-1 -		